

JIS

自動車部品－内燃機関用オイルフィルター－ 第 1 部：一般試験方法

JIS D 1611-1 : 2003

(JAPIA/JSA)

(2008 確認)

平成 15 年 11 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 自動車技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	土 屋 孝 夫	社団法人自動車技術会
(委員)	大 野 陽 男	社団法人日本自動車部品工業会
	角 村 浩	国民生活センター
	川 嶋 弘 尚	慶應義塾大学
	小 林 行 雄	社団法人日本自動車連盟
	斎 藤 敬 三	独立行政法人産業技術総合研究所
	佐々木 要 助	株式会社曙ブレーキ
	鷹 薮 豊 二	社団法人全日本トラック協会
	高 橋 彬	日本自動車輸入組合
	平 松 金 雄	財団法人日本自動車研究所
	古 谷 國 貴	株式会社本田技術研究所
	松 本 和 良	国土交通省
	水 野 慶 之	財団法人日本自動車輸送技術協会
	森 部 幸 男	社団法人日本自動車整備振興会連合会
	山 本 迪	早稲田大学
	横 山 文 則	トヨタ自動車株式会社
	和 田 政 信	日産自動車株式会社

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 15.11.20

官 報 公 示：平成 15.11.20

原 案 作 成 者：社団法人日本自動車部品工業会

(〒108-0074 東京都港区高輪 1 丁目 16-15 TEL 03-3445-4211)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4 丁目 1-24 TEL 03-5770-1573)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：自動車技術専門委員会 (委員長 土屋 孝夫)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 標準課産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、社団法人日本自動車部品工業会 (JAPIA)／財団法人日本規格協会 (JSA) から、工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

今回の制定は日本工業規格を国際規格に整合させるため、**ISO 4548-1, ISO 4548-2, ISO 4548-3, ISO 4548-4, ISO 4548-5, ISO 4548-6, ISO 4548-7** 及び **ISO 4548-9** を基礎として用いた。

これによって **JIS D 1611 : 1995** は廃止され、**JIS D 1611-1, JIS D 1611-2** に置き換えられる。

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任はもたない。

JIS D 1611-1 には、次に示す附属書がある。

附属書 1 (規定) 内燃機関用全流式オイルフィルタの入口アンチドレン弁及び出口アンチドレン弁の試験方法 (ISO 試験方法)

附属書 2 (参考) **JIS** と対応する国際規格との対比表

JIS D 1611 の規格群には、次に示す部編成がある。

JIS D 1611-1 第 1 部：一般試験方法

JIS D 1611-2 第 2 部：全流式オイルフィルタの粒子カウント法によるろ過効率試験方法及びコンタミナント捕捉容量試験方法

目次

	ページ
序文	1
1. 適用範囲	1
2. 引用規格	2
3. 定義	2
4. 試験項目	2
5. 試験の一般条件	3
6. 圧力損失試験	3
6.1 試験条件	3
6.2 試験装置	3
6.3 試験手順	4
6.4 記録	5
7. 逃し弁の性能試験	6
7.1 試験条件	6
7.2 試験装置	6
7.3 試験手順	6
7.4 記録	6
8. エレメントの差圧強度試験	7
8.1 試験条件	7
8.2 試験装置	7
8.3 試験手順	7
8.4 記録	8
9. ろ過効率試験	8
9.1 試験条件	8
9.2 試験装置	9
9.3 試験手順	9
9.4 記録	10
10. インパルス耐久試験	11
10.1 試験条件	11
10.2 試験装置	11
10.3 試験手順	11
10.4 記録	12
11. 耐圧試験	12
11.1 試験条件	12
11.2 試験装置	12
11.3 試験手順	12

白 紙

自動車部品—内燃機関用オイルフィルター—

第 1 部：一般試験方法

Automotive parts—Lubricating oil filters for internal combustion engines— Part 1 : General test methods

序文 この規格は、ISO 4548-1, ISO 4548-2, ISO 4548-3, ISO 4548-4, ISO 4548-5, ISO 4548-6, ISO 4548-7 及び ISO 4548-9 を翻訳し、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、原国際規格を変更している事項である。変更の一覧表をその説明を付けて、附属書 2 (参考) に示す。

1. 適用範囲 この規格は、自動車用内燃機関に用いる全流式、バイパス式及びコンビネーション式のオイルフィルタ (以下、フィルタという。) の試験方法について規定する。

備考 この規格の対応国際規格を、次に示す。

なお、対応の程度を表す記号は、ISO/IEC Guide 21 に基づき、IDT (一致している)、MOD (修正している)、NEQ (同等でない) とする。

ISO 4548-1 : 1997, Methods of test for full-flow lubricating oil filters for internal combustion engines
—Part 1 : Differential pressure/flow characteristics (MOD)

ISO 4548-2 : 1997, Methods of test for full-flow lubricating oil filters for internal combustion engines
—Part 2 : Element by-pass valve characteristics (MOD)

ISO 4548-3 : 1997, Methods of test for full-flow lubricating oil filters for internal combustion engines
—Part 3 : Resistance to high differential pressure and to elevated temperature (MOD)

ISO 4548-4 : 1997, Methods of test for full-flow lubricating oil filters for internal combustion engines
—Part 4 : Initial particle retention efficiency, life and cumulative efficiency (gravimetric method)
(NEQ)

ISO 4548-5 : 1990, Methods of test for full-flow lubricating oil filters for internal combustion engines
—Part 5 : Cold start simulation and hydraulic pulse durability test (MOD)

ISO 4548-6 : 1985, Methods of test for full-flow lubricating oil filters for internal combustion engines
—Part 6 : Static burst pressure test (MOD)

ISO 4548-7 : 1990, Methods of test for full-flow lubricating oil filters for internal combustion engines
—Part 7 : Vibration fatigue test (MOD)

ISO 4548-9 : 1995, Methods of test for full-flow lubricating oil filters for internal combustion engines
—Part 9 : Inlet and outlet anti-drain valve tests (MOD)